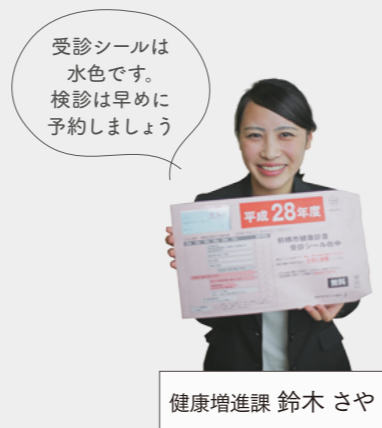




前橋市では 受診シールで 検診が無料で 受けられます

特集02 健康医療都市まえばし
健康増進課
 ☎027-220-5784

検診の対象者には受診シールを送付しました。検診は市内医療機関で受診する個別検診か、保健センターや市民サービスセンターなどで受診する集団検診から選べます。



健康増進課 鈴木 さや

検診は全て無料で、受診する際は、必ず受診シールが必要です。各種検診の対象者は下表のとおりです。本年度から胃がんの集団検診が予約制になりました。詳しくは、受診シールに同封されているチラシか本市ホームページをご覧ください。

■ 特定健康診査・後期高齢者健康診査・健康増進健康診査

血液検査や尿検査、医師の診察、問診などを行い、自覚症状なく進む生活習慣病などを早期に発見することが出来ます。毎年受診して自分の体の変化を知り、生活習慣を見直すきっかけにしてください。詳しくは加入している医療保険者に問い合わせてください。

検診		対象
健康診査	特定健康診査	40～74歳の人
	後期高齢者健康診査	後期高齢医療加入者
	健康増進健康診査	40歳以上の生活保護受給者など
がん検診	子宮頸がん検診	20歳以上の女性
	胸部(結核・肺がん)検診	40歳以上の人
	胃がん検診	
	大腸がん検診	
	乳がん(甲状腺)検診	40歳以上の女性
前立腺がん検診	50歳以上の男性	

Health Check

成人歯科健康診査	本年度中に30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる人
骨粗しょう症検診	本年度中に40・45・50・55・60・65・70歳になる女性
肝炎ウイルス検診	①40歳の人②41歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

人間ドック助成を追加で募集

人間ドック受診を希望する人への健診費一部助成を追加募集します。詳しくは問い合わせるか本市ホームページをご覧ください。

対象＝本年度で30歳以上の国保加入者と後期高齢者医療加入者で、国保税・後期高齢者医療保険料を完納している世帯の人

「子」 どもは育ちませんし、高齢者は暮らしづらくなりますよ、自治会がなければ」と話す関根所長。市民に最も身近な行政組織・市民サービスセンターの職員として15年間、自治会と共に地域の課題解決を支えてきた。

「各自治会長は現役時代に培った経験を生かして、地域の人の生活を良くしようと奮闘しています。仕事を退職した後に一人の住人として謙虚に行動される人ばかり、頭が下がります」

「私たちは自治会の潤滑油であり接着剤。あくまでサポートの立場です」と穏やかに語る。地域の人と話すときには、「課題は何か、解決のヒントがないか」と常にアンテナを張っている。地域を良くするには、課題を見つけ、解決方法を地域の人たちと一緒に見出し、定着させなければいけない。非常に時間のかかるプロセスが必要だ。善意と善意で支え合う



芳賀市民サービスセンター 星野 瑠那



元総社市民サービスセンターの関根敏夫所長。社会教育主事として、芳賀・下川淵・東地区などで15年間、地域のためにと奮闘している

新人2年目の星野主事は「自治会と地域に向き合う仕事をすることで、公務員として大切なことをたくさん吸収させてもらっています」と話してくれた。地域ネットワークの一員になるには真面目に一生懸命取り組む姿勢が求められる。



各自治会では災害に備え自主防災会も組織

自 治会活動に尽力する人たちの原動力は、自分の経験を、町のために生かす貢献しようという、善意です。私たちの前橋市は、その285もの善意の組織に支えられています。

自分の目の前の課題を解決することで精一杯。多くの方がそう言いますが、それで良いのではないのでしょうか。一人一人の行動を大きな波に変えるため、本市は県都まえばし創生プランの中で、「健康医療都市まえばし」というビジョンを掲げ、力の結集を図ります。実現には行政の力だけでは限界があります。自治会や民生・児童委員、福祉ボランティアなど、全ての組織のネットワークを強化し、少子高齢社会に対応します。

未来を創る主役は市民です。困っている隣人を支え、行動するあなたこそ、地方創生時代のふるさと前橋を創るヒーローです。

特集01 自治会 新たなる希望

fin.



粕川町月田のささら。県重要民族文化財の獅子舞、600年の伝統をつなぐ
 三三ふれあいサロン。三俣町三丁目では、高齢者の元気な声が響く
 創作かかしの出来を競う案山子祭り。総社町山王のユニークな企画だ
 上細井町で行われる町内の田植え。収穫までを子どもたちに伝える
 住吉町二丁目の戦災犠牲者慰霊祭。毎年、8月5日に空襲の犠牲者を追悼